



株式会社大米建設 土木部土木課  
**土木現場監督**  
上地 和樹さん 25歳・入社5年  
Vol.4

## 各産業で働く先輩にインタビュー！

なぜ、どのような道を通して  
その仕事にたどり着いたのか？  
十人十色の適職探し、  
意外なヒントが見つかるかも？！

聞いたことはあっても  
何をやるのかよく分からない  
現場監督... どんな仕事かな？

## 緊張感のある仕事だからこそ、 終わったあとのビールが格別



すべての作業は安全第一。事故は作業員の命にかかわるので現場は常に緊張感で満ちています。なので工事が無事故で終わり、竣工検査の書類が終わった後の達成感はたまりません。現場単位で事務所を構え、監理技術者、現場代理人、現場技術員とチーム(パーティ)を組んで数ヶ月~年単位で一緒にやっていく中で連帯感が生まれます。現場が終わった後は膨大な量の書類を提出するために毎回四苦八苦していますが、竣工検査まで終わった後にチームの皆と飲むビールは格別です。

### ★どんな仕事内容ですか？

主に公共工事にて、現場で作業する方の段取りをするのが大米建設の土木現場監督の仕事です。測量から始まり材料の手配や安全面の管理、書類の作成、発注者に検査を受けて竣工(工事が完了すること)するまで工事の段階によりすることは変わります。先週航空自衛隊の現場が終わり、竣工検査を受けたばかりです。

### ★どうしてこの仕事を選びましたか？

高校時代は将来の目標がなく、漠然と「指示されるより、指示する側にになりたい」と思っていたところ高校の先生に現場監督を勧められ、名古屋の東海工業専門学校金山校に進学しました。大米建設は東海工業の卒業生が何人も就職しているのと、八重山に支店があるので就職を決めました。将来は八重山に帰ろうと思っているので。

The future will come true

▼この仕事に就くまでの歩み

- 18歳 八重山商工高等学校を卒業し、名古屋の専門学校へ
- 20歳 東海工業専門学校金山校の土木工事を卒業
- 21歳 Uターン就職で、卒業生の就職先で多い大米建設入社
- 23歳 現場で経験を積み2級土木施工管理技士取得

▼未来のジブンは...

- 25歳 1級土木施工管理技士を取得し現場代理人として工事の実績を積む
- 26歳 僕の名前で工事を受注するように
- 28歳 八重山に帰り大米建設八重山支店に勤務
- 50歳 八重山支店の支店長に

具体的な職種が思い浮かばなくても、自分の「自分の特性」に気づき、それを踏まえて職業を選ぶことは、自分自身の幸せのためにも、周囲のためにもとても大切です。この上地さんとは逆に、指示されたことに従うのが中心に頑張れる、という人が現場監督として活躍していらっしゃいますか？



2級土木施工管理技士の合格証明書です



現場は安全第一。スムーズに仕事を進められるよう気を配ります

### 会社から評価されたこと★

2級土木施工管理技士の検定試験に一発で合格した時は、上司からたくさん褒めてもらいました。2級は1次の学科試験までは学生の間に取ることが出来るので、受けたのは実務経験が必須な2次試験のみ。試験内容は現場での経験や安全管理、品質管理などについての作文なので、この2年でやってきたことの集大成となります。次は1級。1次試験の学科があるので、仕事の休みの日に日建学院に通って試験に備えます。1級はかなり難しく合格率は2級に比べてぐんと下がりますが、1級が取れたら僕の名前で大きな工事を受注出来るようになるので頑張ります。

### 将来なりたいイメージ★

企業に所属しているからには、向上心を持って上を目指します。本社で受ける仕事は規模が大きいので、今はここで沢山経験を積み、子どもが小さいうちに故郷である八重山に帰りたいと思っています。将来的には八重山支店で支店長になることが目標です。この仕事はほぼチーム作業で、毎日現場に直接出勤するため本に行くのはごく僅か。規模が大きな会社で忘年会も部署ごとなので、部署が違うと同じ本社の人間でもなかなか顔を合わせる機会がないのですが、皆から信頼される支店長になりたいと思います。

企業にとり、知るべき存在だということに気がつく。

(株)ワタリ沖縄支店 営業仕入課  
**仕入担当**  
 比嘉 光太郎さん 27歳・入社2年

Vol.5

「おまけのない」卸売(おまけ)業。  
 メーカーや生産者から商品を買って、  
 「小売(みくり)業」=スーパー等に販売する。

出典:

「COMPASS～沖縄の産業・仕事まるわかり!～」  
 (株)求人おきなわ  
 ※進路室等に在庫あります



## お客様が野菜を手にする姿にやりがいを感じます!

正社員になって3か月ぐらいのことです。スーパーで買い物をしているときに、私が仕入れた野菜をお客様が買い物カゴに入れたところを目の当たりにしました。その瞬間「それ僕が仕入れた野菜です!」と叫びたくなるほど嬉しかったことを覚えています。実際の仕事では、手を抜くとスーパーへ野菜が納品されず、お客様の手元に野菜が届かなくなってしまうというプレッシャーもあります。しかし、私が仕入れた野菜が食卓を豊かにすることを想像すると、とてもやりがいを感じる仕事です。

### ★どんな仕事内容ですか?

当社は青果の卸売業で、私は大手スーパーに卸すキノコ類や葉野菜類の仕入を担当しています。仕入先は主に県外ですが、時期によって産地が変わります。同じ品目でも寒い時期は九州だったり、暑くなると北海道だったり、まるで桜前線のような感じです。そのときどきで仕入先を選び、おいしい青果がいつも店頭に並ぶよう、日々仕事をしています。

### ★どうしてこの仕事を選びましたか?

もともとは、ずっとパソコンに向かって仕事するような事務職に就きたかったのです。この会社にはまずバイトで入って、当初はそのような仕事をしていましたが、まわりを見ていて「野菜の仕事っておもしろそうだな」と思うようになり、ちょうど「正社員にならないうか」という話をもらったので、正社員として働くようになりました。 **やりがい仕事に就いた中での新たな出会い... いっせいに将来に結びつく糸が絡ちる感じが分りません。**

The future will come true

### ▼この仕事に就くまでの歩み

- 18歳 球陽高校卒業  
琉球大学教育学部入学
- 19歳～民間企業や市役所臨時職員などを経験
- 26歳 (株)ワタリ入社、営業仕入課に配属

### ▼未来のシブンは...

- 30歳 結婚
- 35歳 主任になる
- 40歳 マイホームを建てる
- 60歳 旅行を趣味にセカンドライフ



仕入れたレタスを社内でチェックし、納品します。



大変な状況も仲間とともに乗り越えます。

指示された通りに動くだけでなく、「どうしたらもっと良くなるだろう?」と考えながら取り組み、改善案も提案する

### 仲間と頑張ったこと★

年末年始はスーパーにお客様が多くいらっしゃるの野菜を多く仕入れなくてはなりません。そのため、仕入先との調整が普段より増えたり、会社へ納品される野菜も多くなるため忙しくなります。台風の時も影響がでます。仕入先から野菜が出荷されても、天候の影響で船の到着が遅れると生鮮物である野菜はダメになるので納品できません。そんなときは一人で考え込まず、仲間と相談、協力し合いながら乗り越えた時は達成感が大きいです。

### 自分が成長したと感じる点★

仕事をしていて「これは違うのではないかと、こうした方がいいのではないかと」思うことがあります。それを上司に提案したところ、採用されました。しかもそれを支店長や課長が参加する会議で、私の提案として報告してくれたそうです。それまでは任された仕事をこなすだけだったのが、自分にももっと提案できることがあるはずだ!と考えるながら仕事ができるようになりました。これは自分の成長だと思っています。会社が認めてくれたおかげなのでありがたいですね。